



令和元年6月20日

各位

会社名 株式会社ディー・エル・イー
代表者名 代表取締役 椎木 隆太
(コード番号：3686 東証第一部)
問合せ先 執行役員 松本 博数
(TEL. 03-3221-3980)

(訂正・数値データ訂正) 「通期業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について

本日発表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に、一部訂正すべき事項がございましたので、下記の通り訂正いたします。また、数値データ(財務諸表 XBRL)にも訂正すべき事項がありましたので、訂正後の数値データも送付します。なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

(訂正前)

1. 令和元年6月期通期連結業績予想の修正(平成30年7月1日～令和元年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,169	150	130	△603	△29.70円
今回修正予想(B)	3,812	△46	△110	<u>668</u>	<u>30.03円</u>
増減額(B-A)	△1,357	△196	△240	<u>1,272</u>	
増減率	△26.3%	—	—	—	
(ご参考) 平成30年6月期実績	5,553	92	86	△411	△20.29円

※1株当たり当期純利益について、前回発表予想では、平成30年7月1日から平成30年12月3日の期中平均株式数で計算しておりましたが、令和元年5月29日付で朝日放送グループホールディングス株式会社を割当先とする第三者割当による新株式の発行(発行新株式数：22,000,000株)を実施したため、今回修正予想では、当該増資により増加した株式数を含めて計算しております。

2. 業績予想修正の主な理由

本日公表の「特定子会社の異動（株式一部譲渡）及び特別利益（関係会社株式売却益）の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当社の連結子会社である株式会社 W TOKYO の株式譲渡に伴い、同社は当第 3 四半期連結会計期間末をもって連結対象から外れることとなりました。この影響により、売上高は 958 百万円、営業利益は 40 百万円、経常利益は 26 百万円、それぞれ前回発表予想を下回る見込みとなります。

あわせて、当社の IP プロデュース事業において、新作コンテンツの展開時期の遅れやライセンス契約の不成立等によって売上高が 289 百万円、営業利益が 119 百万円下回ることや、ゲーム事業において、新作ゲームのリリース時期遅延に加え、想定していたインストール数やユーザー課金が獲得できなかったこと等によって売上高が約 50 百万円、営業利益が約 50 百万円下回ること、本年 5 月 10 日に公表した第三者割当増資に伴う発行諸費用等による当社の営業外費用の増加 53 百万円を見込んだ結果、売上高、営業利益及び経常利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

他方、株式会社 W TOKYO の株式譲渡の実行により、関係会社株式売却益として 1,545 百万円 を特別利益に計上する予定であること、及び本日公表の「関係会社株式等一部譲渡に伴う特別利益の発生に関するお知らせ」に記載のとおり、double jump. tokyo 株式会社等の株式譲渡の実行により、特別利益として 164 百万円の計上を見込んでいることから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回る見込みです。

(訂正後)

1. 令和元年 6 月期通期連結業績予想の修正（平成 30 年 7 月 1 日～令和元年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	5,169	150	130	△603	△29.70 円
今回修正予想 (B)	3,812	△46	△110	<u>644</u>	<u>28.96 円</u>
増減額 (B-A)	△1,357	△196	△240	<u>1,248</u>	
増減率	△26.3%	—	—	—	
(ご参考) 平成 30 年 6 月期実績	5,553	92	86	△411	△20.29 円

※ 1 株当たり当期純利益について、前回発表予想では、平成 30 年 7 月 1 日から平成 30 年 12 月 3 日の期中平均株式数で計算しておりましたが、令和元年 5 月 29 日付で朝日放送グループホールディングス株式会社を割当先とする第三者割当による新株式の発行（発行新株式数：22,000,000 株）を実施したため、今回修正予想では、当該増資により増加した株式数を含めて計算しております。

2. 業績予想修正の主な理由

本日公表の「特定子会社の異動（株式一部譲渡）及び特別利益（関係会社株式売却益）の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当社の連結子会社である株式会社 W TOKYO の株式譲渡に伴い、同社は当第 3 四半期連結会計期間末をもって連結対象から外れることとなりました。この影響により、売上高は 958 百万円、営業利益は 40 百万円、経常利益は 26 百万円、それぞれ前回発表予想を下回る見込みとなります。

あわせて、当社の IP プロデュース事業において、新作コンテンツの展開時期の遅れやライセンス契約の不成立等によって売上高が 289 百万円、営業利益が 119 百万円下回ることや、ゲーム事業において、新作ゲームのリリース時期遅延に加え、想定していたインストール数やユーザー課金が獲得できなかったこと等によって売上高が約 50 百万円、営業利益が約 50 百万円下回ること、本年 5 月 10 日に公表した第三者割当増資に伴う発行諸費用等による当社の営業外費用の増加 53 百万円を見込んだ結果、売上高、営業利益及び経常利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

他方、株式会社 W TOKYO の株式譲渡の実行により、関係会社株式売却益として 1,516 百万円 を特別利益に計上する予定であること、及び本日公表の「関係会社株式等一部譲渡に伴う特別利益の発生に関するお知らせ」に記載のとおり、double jump. tokyo 株式会社等の株式譲渡の実行により、特別利益として 164 百万円の計上を見込んでいることから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回る見込みです。

以 上